

平成 29 年 10 月 6 日

アイスホッケー競技参加大学各位

一般社団法人日本学生氷上競技連盟
会 長 福 田 弥 夫

第 90 回大会における宿泊等について

参加大学の皆様はすでにご承知のこととは存じますが、インカレは参加大学からの参加料だけでは到底総経費を賄うことができず、今回の八戸大会においても地元自治体を中心とする八戸の各界の方々から、総額で 500 万円を超える財政的援助をいただくことで収支が整う計算となっています。地元自治体及び経済界との信頼関係なしには到底成り立たない大会です。

第 90 回大会における宿泊手配は、主管連盟である青森県アイスホッケー連盟をはじめ、地元受け入れ関係者との協議の結果、前回の八戸大会や国体、さらにはインターハイ等の全国大会レベルにおける宿泊等の手配経験の豊富な北日本トラベル様にお願いすることとなりました。今回の八戸大会は 3 会場を利用して開催されますが、これまで八戸市で開催された全国大会を参考として、移動時間や経費、さらには各宿泊施設の収容可能員数や食事時間等を勘案して手配していただくこととなっており、移動や宿泊に関するトラブル発生の可能性を極力回避する内容の手配となります。また、八戸市の北日本トラベル様には、当連盟の賛助会員としての後援もいただくこととなっております。

つきましては、第 90 回大会における宿泊の手配等に関しましては、北日本トラベル様に手配等を委託されますようお願いいたします。インカレをめぐる環境は年々厳しさを増しており、自治体や経済界からの財政的な援助なしで開催するためには、参加大学の負担を二倍近くにしなければなりません。今後のインカレの開催地決定に際しての、地元自治体や経済界等との信頼関係の醸成のためにも、上記の趣旨をご理解いただき、第 90 回大会の宿泊要項に従って手配いただきますようお願い致します。なお、スピード、フィギュア及びショートトラック競技を開催する軽井沢町におきましても、同様な趣旨から宿泊等の手配を担当する旅行代理店が選定されていますことを申し添えます。